

国分寺市ゼロカーボン行動計画

～オール国分寺で取り組む脱炭素社会～

概要版



令和6年3月

国分寺市

1 地球温暖化とその影響

■ 地球温暖化の仕組み

エネルギーの大量消費で温室効果ガスの濃度が上昇し、地球が宇宙に放出するはずの熱が大気中に封じ込められることにより、温室効果が進み、地球の表面の気温が高くなります。

地球温暖化の原因について、「人間の影響が大気・海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」とされています。

地球温暖化の主な原因は、人間の活動によるCO₂排出量の増加

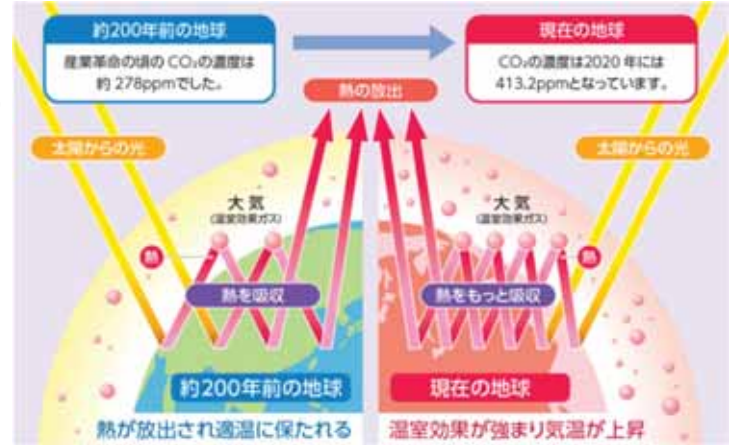
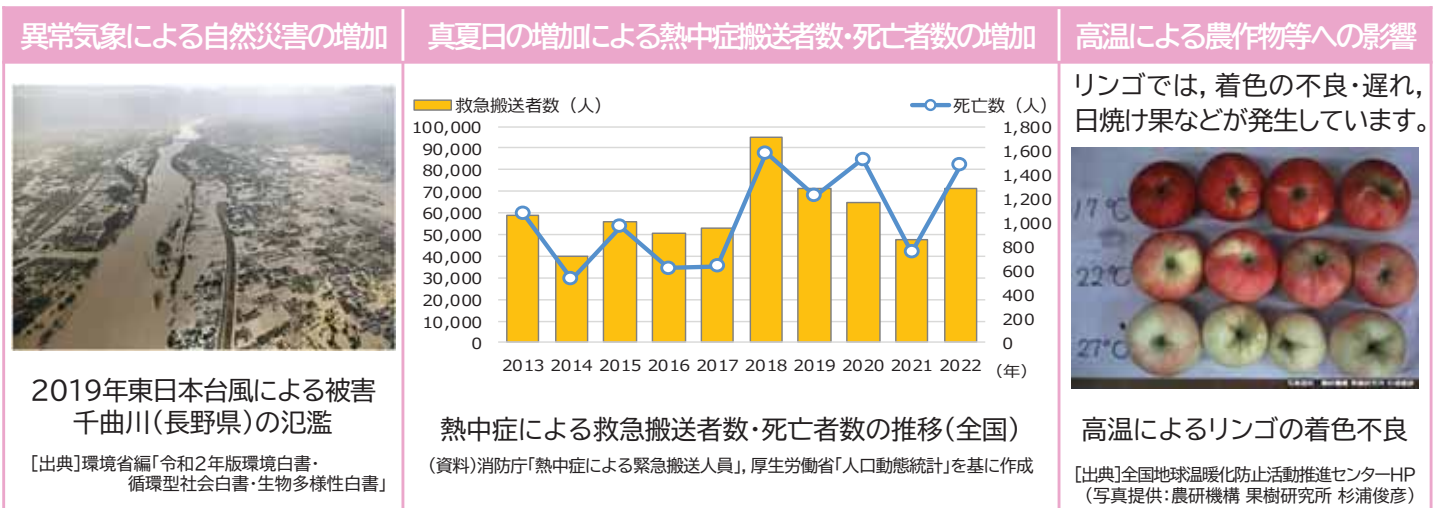


図:CO₂の増加による地球温暖化の仕組み

[出典]一般財団法人家電製品協会「2023スマートライフおすすめBook」
(原典:温室効果ガスインベントリオフィス/全国地球温暖化防止活動推進センターHP)

■ 地球温暖化の影響

地球温暖化の影響は日本でも既に現れており、異常気象による被害が観測されています。また、気候の変化は生態系を変え、農作物等に影響を及ぼし、さらに日本特有の自然や文化にも影響を与え始めています。



■ 上昇し続ける世界の年平均気温。気象にも既に現れている地球温暖化の影響

CO₂濃度の上昇に伴い、世界の年平均気温は、100年当たり0.74℃、東京では、都市化によるヒートアイランド現象の影響もあり、100年当たり約2.6℃上昇しています。

また、全国で真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数はいずれも増加傾向にあります。

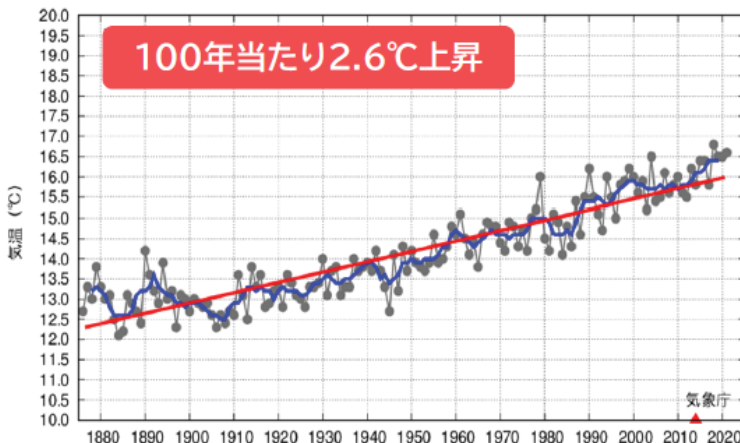


図:東京の年平均気温の推移

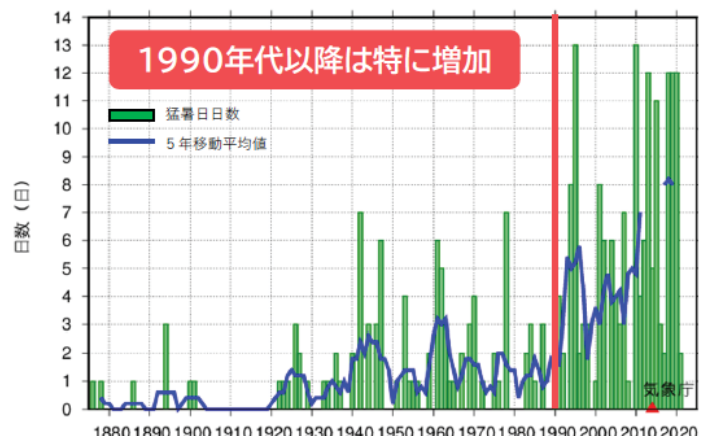


図:東京の猛暑日日数の推移

(資料)東京管区気象台HP「東京都の気候変化」を基に作成

■ 地球温暖化が進むとどうなるの？

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、世界の平均気温は、少なくとも今世紀半ばまでは上昇を続けるとしています。また、化石燃料の削減など抜本的な対策を取らない場合、世界の平均気温は、**21世紀末までに最大5.7℃上昇**すると試算しています。

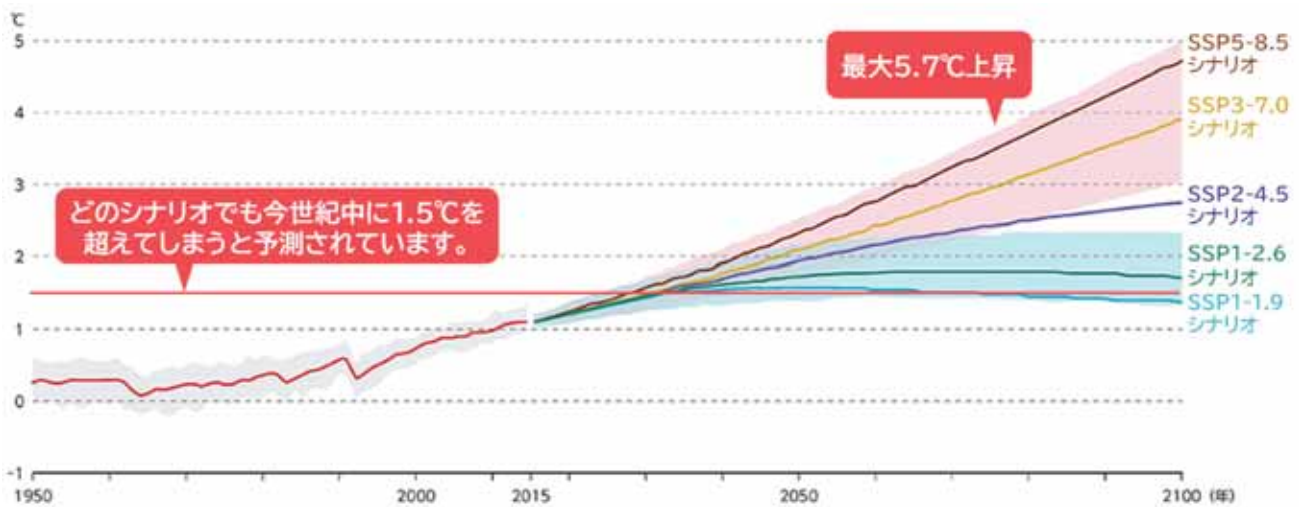


図:1850年から1990年を基準とした世界平均気温の変化

(資料)環境省編「令和4年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」を基に作成

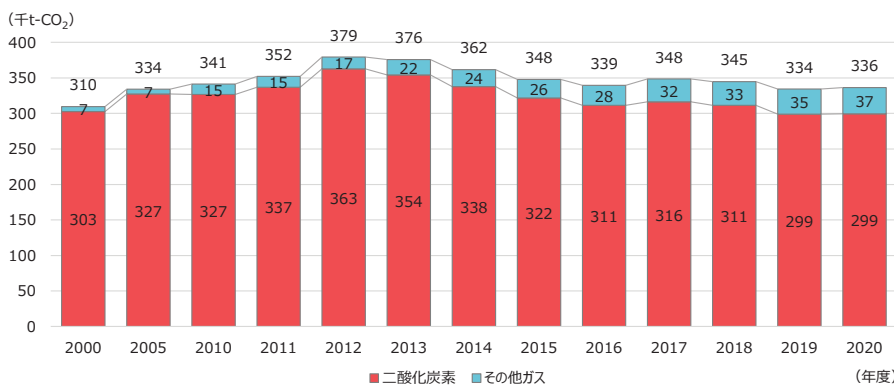
2 国分寺市の温室効果ガス排出状況

■ 温室効果ガス排出量は2012年度以降は減少傾向

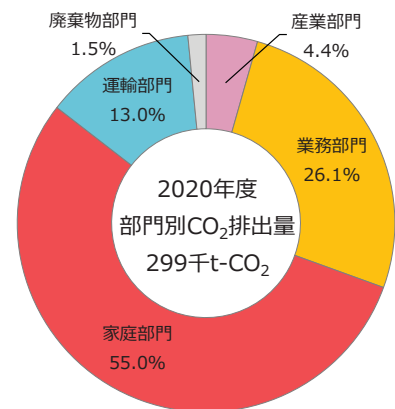
本市の温室効果ガス排出量は、2012年度以降はおおむね減少傾向で推移しています。

温室効果ガス排出量のうち、CO₂が約9割を占めており、そのうち家庭部門と業務部門で約8割と、市民の日常生活や事業者の事業活動による排出が多くを占めています。

【温室効果ガス排出量の推移】



【温室効果ガス排出量 (2020年度)の内訳】



※電力の排出係数は各年度変動。端数処理の関係上、合計値や割合が一致しない場合があります。

(資料)オール東京62市区町村共同事業提供資料を基に作成

東京スカイツリー®, ウォーターツリーに!?

気候危機が進むと、集中豪雨や台風の激化により、現在の約4倍洪水が発生しやすくなると言われています。

東京でも、荒川や多摩川など、東京湾につながる河川がひとたび氾濫すれば、23区の3分の1が水につかるとの想定も。

スカイツリー®から望む景色が一面水浸し、という未来を引き起こさないために、今から対策が必要です。



[出典]公益財団法人世界自然保護基金ジャパンウェブサイト「気候危機で地元どうなる?未来47景」

3 国分寺市ゼロカーボン行動計画とは

計画の目的

本計画は、本市の目指す2050年温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現への取組の方向性を示し、市民・事業者・市の各主体が各々の役割に応じ、本市の地域特性と現状を踏まえた取組を総合的かつ計画的に丸となって推進することで、本市から排出される温室効果ガスの削減と気候変動への適応を図るとともに、地域におけるGXの推進につなげ、持続可能なまちづくりを進めることを目的としています。

計画の対象

国分寺市全域

【対象とする温室効果ガス】地球温暖化対策推進法が対象とする7種類のガス
 二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、
 パーフルオロカーボン類(PFCs)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)

【対象部門】

- 産業部門：農業、建設業、製造業のエネルギー消費に伴う排出
- 家庭部門：家庭のエネルギー消費に伴う排出
- 業務部門：事務所・ビル、商業・サービス業施設のほか、他のいずれの部門にも帰属しないエネルギー消費に伴う排出
- 運輸部門：自動車(自家用自動車を含む)、鉄道のエネルギー消費に伴う排出
- 廃棄物部門：廃棄物の焼却に伴い発生する排出

計画の期間

2024年度～2030年度

計画の実施主体

市民・事業者・市
 それぞれの主體的な取組と連携・協働により、計画を推進していきます。



4 計画の基本理念

計画の推進に当たっては、以下の2つの基本理念を掲げ、施策を展開していきます。

基本理念 1

オール国分寺で
 実現する

基本理念 2

国分寺らしさ・
 国分寺のポテンシャル
 (可能性・発展性) をいかす



国分寺らしさ・ポテンシャル

国分寺産産を中心とした緑と水

農のあるまちの風景と地産地消

全国的にも高水準なごみ減量・資源化の取組

幅広い世代にとって住み続けたいまち

再生可能エネルギー資源などが豊かな地域との広域連携

産・官・学との連携による新しい技術・イノベーション

5 計画の目標

長期目標

2050年までに市域の温室効果ガス排出量を実質ゼロにします。

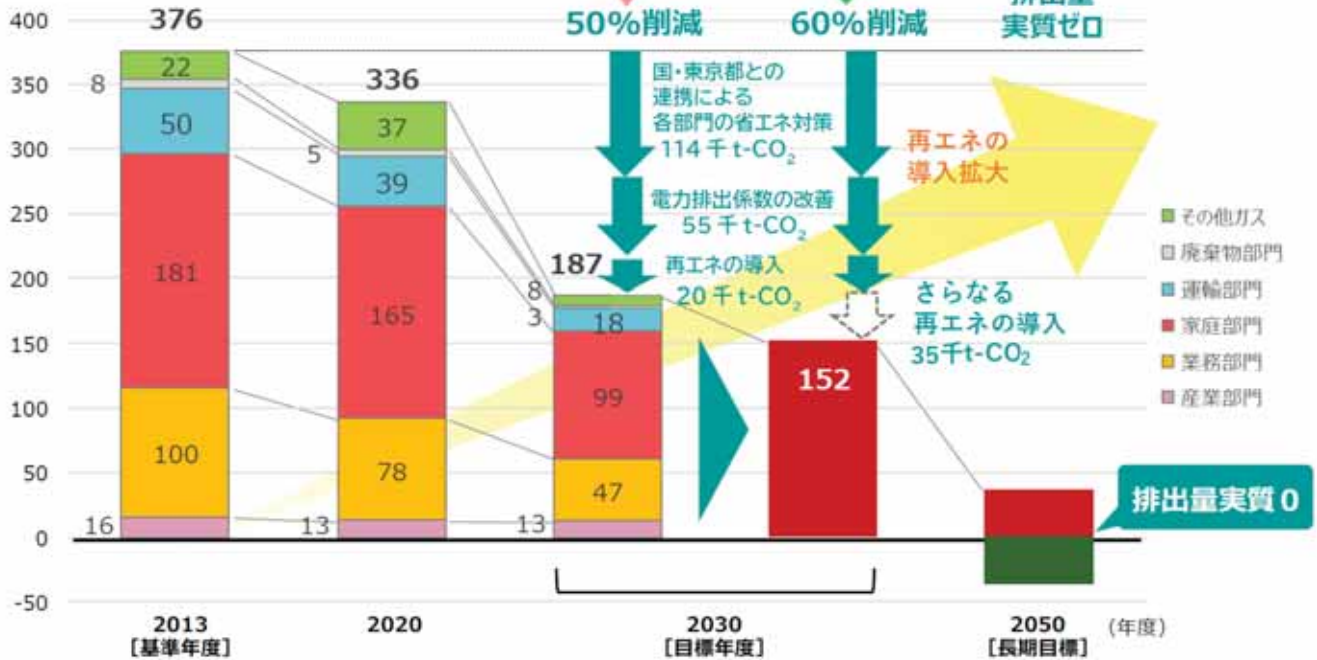
中期目標

【本計画期間の目標】

2030年度において、2013年度比で温室効果ガス排出量を50%削減します。
また、さらなる高みを目指し、60%削減に向けて、意欲的に取組を進めます。

【脱炭素シナリオ】

(千t-CO₂)



6 施策の展開

基本方針 1 脱炭素ムーブメントの創出

施策1-1 脱炭素型スタイルへの転換

主な取組

- 脱炭素型スタイルの普及啓発(地球温暖化, 省エネ行動, 再生可能エネルギー利用等)
- 効果の見える化の推進(簡易型電力表示器・環境家計簿・脱炭素アプリ等)
- 市民の行動変容を促す環境教育・環境学習の推進

施策1-2 連携・協働による脱炭素社会の実現

主な取組

- 産学官民連携のプラットフォーム整備によるGX推進
- 脱炭素分野の市内事業者の起業及びイノベーション支援

基本方針 2 省エネ化と再エネ導入の推進

施策2-1 住まい・建物, 設備・機器の省エネ化の普及促進

主な取組

- 既存建築物の断熱化の普及促進
- 建築物の省エネルギー化, 長期優良, 低炭素の各種制度に係る認定
- 高効率な家電や給湯器, その他設備・機器の導入支援
- ZEH, ZEBの情報提供
- HEMS, BEMS等の情報提供

施策2-2 再エネ導入の促進

主な取組

- 太陽光発電設備や蓄電池等の普及促進
- PPAモデルの情報発信
- 再エネ電力への切替え促進
- 再生可能エネルギー利用の普及啓発
- 広域連携による再生可能エネルギー利用促進に向けた検討(地域間融通等)
- 熱利用による再生可能エネルギーや水素等次世代エネルギーに係る情報収集・発信, 導入検討

基本方針3 緑の保全・創出

施策3-1 市域の緑の保全・創出

主な取組

- 保存樹木の指定及び保存樹林地制度による保全
- 市民活動団体・事業者等との連携・協働による緑地の維持管理の推進
- 事業所の屋上緑化や敷地内緑化の普及啓発
- 生垣造成への支援
- 生産緑地の追加指定の推進
- 農業体験農園の支援
- 援農ボランティアの推進
- 緑を始めとした自然環境が持つ多様な機能をいかすグリーンインフラの整備推進

施策3-2 広域連携による緑の保全・創出

主な取組

- 姉妹都市・友好都市等の連携によるカーボンオフセット事業の推進
- 建築物の新築・更新時の多摩産材や姉妹都市・友好都市等の木材の利活用推進

基本方針4 循環型社会の形成

施策4-1 資源循環の推進

主な取組

- ごみ減量・資源化の推進
- 3R講座による地域ボランティアの育成
- ごみ分別アプリやごみ・リサイクルカレンダーによる適切な分別の普及啓発
- リサイクル推進協力店制度の拡充・普及啓発
- 連携による水平リサイクルの推進（ボトルtoボトル等）
- 生ごみの集団回収・堆肥化の推進
- 使い捨てプラスチックの削減、バイオプラスチック製品等の環境配慮製品の選択の推進
- 連携による食品ロス対策の推進

施策4-2 地域経済循環の推進

主な取組

- 学校給食等における地場産農畜産物の利用推進
- 地場産農畜産物販売の支援
- 地場産農畜産物をいかした食の普及（野菜等の情報発信、地産地消の推進、イベント出展）
- 農に身近に触れる機会の提供（農ウォーク等）

基本方針5 脱炭素の視点でのまちづくり

施策5-1 ウォーカブルシティの形成

主な取組

- 鉄道・バス等の公共交通機関及び自転車の利用促進
- シェアサイクルの普及啓発
- ウォーカブルな空間の形成

施策5-2 環境に負荷をかけない移動手段の促進

主な取組

- ZEVの普及促進・情報提供
- 電気自動車給電設備設置の促進
- 地域バスのZEV化に向けた検討

施策5-3 都市整備等の機を捉えたまちの脱炭素化の促進

主な取組

- 自治会等の街灯のLED化更新支援
- 再エネ促進区域制度の指定に向けた検討
- ICTを活用したまちづくりに向けた検討

基本方針6 気候変動への適応

施策6-1 猛暑・熱中症への対策

主な取組

- 市民への熱中症予防に関する注意喚起
- 気候変動に伴う感染症に関する情報収集・発信
- 涼み処の拡充・情報発信
- 緑のカーテンや打ち水等の推進
- 保水性・遮熱性舗装の整備推進

施策6-2 自然災害による被害の防止・軽減

主な取組

- 地域防災計画に基づく災害発生時の体制整備
- ハザードマップの周知や訓練の実施等による防災対策の推進
- 防災まちづくり学校や出前講座等を通じた風水害への備えの普及啓発
- 防災対策の視点による太陽光発電機器、蓄電池、家庭用燃料電池の普及啓発
- 雨水浸透施設の設置推進
- 透水性舗装の整備推進

施策6-3 自然生態系の変化の把握・対応その他適応策

主な取組

- 気候変動の影響に関する情報の収集・発信
- 動植物調査等による生物季節や生息分布域の変化についての情報収集
- 外来生物に関する情報発信
- 生物多様性に関する情報収集・発信
- 外来生物対策の実施

7 計画の推進

■ 計画の推進体制

市民・事業者・市の連携と協働により、各主体が一体となって本計画の推進を図ります。



家庭や職場のエネルギーはどこで使われている？

■ 家庭

- 最も使用されているのは「給湯(お風呂やキッチンで使用のお湯)」で、約40%を占めます。
- 冷房よりも暖房の方が消費割合は大きくなっています。

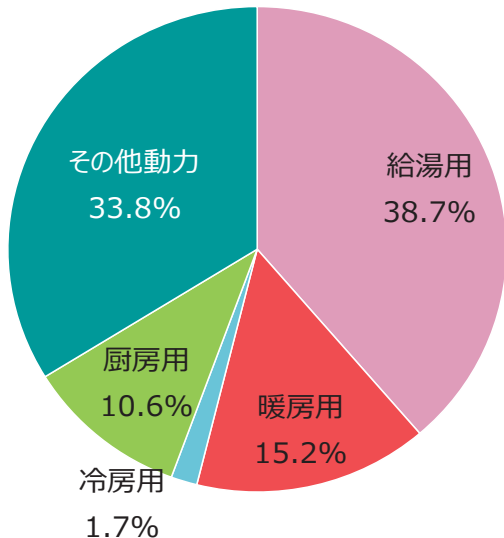


図: 家庭部門のエネルギー消費量の用途別割合

■ 職場

- 業務系施設でも建物の用途によってエネルギーの消費のされ方は異なりますが、市内に多い事業所・ビルの場合、空調関係の「熱源」と「熱搬送」の合計が約40%、「照明・コンセント」が30%以上を占めます。

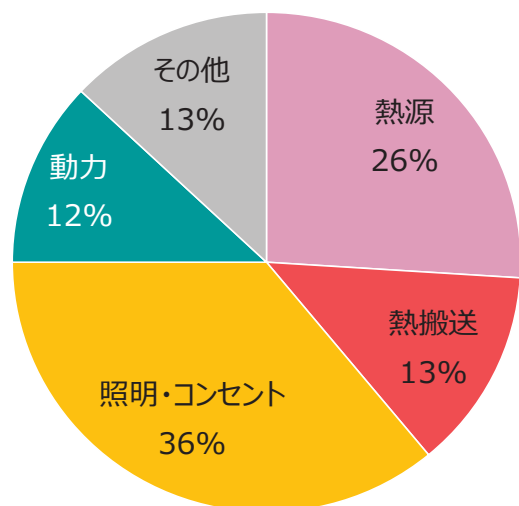


図: 事業所・ビルにおけるエネルギー使途別の割合

[出典] 東京都環境局「家庭の省エネハンドブック2023」
 (原典: 東京都環境局「東京都における最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量総合調査(2020年度速報値)」)

[出典] 環境省ポータルサイト「ZEB PORTAL」

オール国分寺で取り組む脱炭素型スタイル

国分寺市で排出されるCO₂の約8割は、家庭と事業所から排出されています。日常生活や事業活動の中で、ちょっとした工夫をしながら、無駄をなくし、環境に良い製品やサービスを選ぶこと、賢くスマートにエネルギーを使うことで、脱炭素型スタイルに転換することができます。まずはできることからはじめてみませんか？

家の中でできる省エネの取組例

取組の内容	省エネ効果*	光熱費のオトク*	CO ₂ 削減量*
<input type="checkbox"/> エアコンで冷房時の室温は28℃を目安にする	30.2kWh	1,060円	14.8kg
<input type="checkbox"/> エアコンのフィルターをこまめに掃除する(月2回程度)	32.0kWh	1,120円	15.6kg
<input type="checkbox"/> テレビ画面は明るすぎないように設定する	27.1kWh	950円	13.3kg
<input type="checkbox"/> エアコンで暖房時の室温は20℃を目安にする	53.1kWh	1,860円	26.0kg
<input type="checkbox"/> 電気カーペットの設定温度は「強」から「中」にする	186.0kWh	6,530円	91.0kg
<input type="checkbox"/> 白熱電球をLED電球に交換する	92.0kWh	3,230円	45.0kg
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫は季節に合わせて設定温度を調節する	61.7kWh	2,170円	30.2kg
<input type="checkbox"/> 電気ポットの長時間保温はしない	107.5kWh	3,770円	52.6kg
<input type="checkbox"/> お風呂は間隔をあけずに続けて入る(ガス)	38.2m ³	8,960円	82.9kg
<input type="checkbox"/> 衣類乾燥機は、自然乾燥と併用して使う	394.6kWh	13,850円	193.0kg
<input type="checkbox"/> トイレを使わない時は、電気便座のふたを閉める	34.9kWh	1,220円	17.1kg

移動のときにできる取組例

取組の内容	光熱費のオトク*	CO ₂ 削減量*
<input type="checkbox"/> ふんわりアクセル「eスタート」を実践する	11,950円	194.0kg
<input type="checkbox"/> 加減速の少ない運転を行う	4,190円	68.0kg
<input type="checkbox"/> 自動車購入時に、次世代自動車(FCV, EV, PHEV, HV等)を選択する	75,152円	610.3kg
<input type="checkbox"/> 自動車を保有する代わりに、カーシェアを利用する	149,247円	490.5kg

事業所内(オフィス・店舗など)でできる省エネの取組例

- クールビズ・ウォームビズ・スーパークールビズを実践する
- テレワークやウェブ会議を活用する
- オフィス内で移動するときは、なるべくエレベーターではなく階段を使用する
- 高効率照明に切り替える(LED照明, Hf蛍光灯など)
- 空調は、適正温度(夏28℃, 冬19℃)を徹底し、勤務時間外は、空調を停止することに努める
- パソコンは、節電待機モードを活用する

*省エネ効果, 光熱費のオトク, CO₂削減量は1年間の効果。これらは一定の条件のもとで算出したものであり, 省エネ効果等は各家庭で使用する機器の性能などによって異なります。

[参考]東京都「家庭の省エネハンドブック2023」, 環境省「『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後』の関連資料」, 資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」, 東京都・東京都地球温暖化防止活動推進センター「オフィス空間の省エネルギー対策」

国分寺市ゼロカーボン行動計画～オール国分寺で取り組む脱炭素社会～【概要版】

発行 国分寺市 令和6年3月

編集 国分寺市まちづくり部まちづくり計画課

本書は古紙を利用した再生紙を使用しています。

国分寺市ゼロカーボン行動計画本編や
市が行う助成金のご案内はこちらからCheck! ▶

